

お西さん

1998
5-6



おつとめ

蓮如上人の五百回遠忌法要が始まりました。

上人の功績の一つは、正信偈に和讃を添えて、朝夕、仏前にて声をだして“おつとめ”する形式を定められたことでした。それより以来、真宗門徒は、僧俗ともに、声を和してお正信偈の“おつとめ”をしながら混乱の世を生き抜いてきました。お正信偈の“おつとめ”のできない人は、ご開山親鸞聖人のご門徒でないという位、徹底されていたと思います。もの心ついた幼児から、一家全員が、声を揃えてお正信偈の“おつとめ”をしていた姿が目に見えかぶようです。すばらしいことです。

それが明治の文明開化からゆらぎだし、戦後、崩壊の度合いを早めたようです。遠忌法要を機縁に、お正信偈の“おつとめ”を復活したいものです。お念仏の声を、子や孫に継いでもらうためにも。

輪番 大江智朗

ふれあいの寺 本願寺函館別院
函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

5月24日(日)は降誕会のため、月忌参りをお休みさせていただきます。



■遺影のほほ笑み■

今回は、湯川町の小林明子さんの「声」をご紹介します。北海道新聞に掲載されたものですが、とても素晴らしいので、みなさんにも読んでいただきたくて……

「一年間に二人の老親を送り終えた今、二十数年振りに戻ったゆとりの時間の中で、ある空虚さを感じています。」

それは、できる限りのことをしたという充足感と相まって、当の老親たちは果たして人生の終(つひ)の旅立ちを満足して逝ったのかという疑問です。

介護の同時進行は、仕事を辞めるべき、いやフコに頼んでも続けるべき、と常に私の中で葛藤がつつしつていました。選んだのは後者でした。

大学生の息子たちへの仕送りや、年金生活者ではなかった明治生まれの三人の生活費、そして値上げされた病院の支払いを考えた時、親の寂しさには目をつぶることにしたのです。

私に迷惑をかけまいと極力努力した同居の姑(しゅうとめ)、最後も弱い身体にメスを入れてしまった痴ほうの母、そして精いっぱい生きて頑固を買いた九十八歳の父、共に望まない病院での最期でした。

介護施設は三年以上待たねばならぬこと。家での介護は熟練の介護士でなければ無理なこと。病院は少ない看護婦さんたちの頑張りが頼りで、患者の身になった介護は望めないこと。これが長寿国日本の重い現実でした。

仕事の合間に病院に通う毎日でしたが、身内の方がほとんど見舞いに来ない痴ほうのおばあさんが、私の顔を見る度に言う「来てくれてありがと」の言葉が励みでした。

朝、出がけにお参りする時、二つの仏壇に収まった遺影が、「気を付けて……」とがすかにほほ笑んだ気がしました。」

(石丸)

■野球ファンの気持ち■

鍛冶 丁目にお住まいの富田隆さんは、フコ野球の阪神タイガースの大ファンです。居間には阪神のカレンダーやポスター、タオルなどがあり、甲子園球場にも行ったことがあるそうです。「北海道は巨人ファンが多いけど、うちは阪神ファンなんですよ」と富田さん。私も子供の頃から阪神ファンで、富田さんのお宅にお参りに伺った時は阪神のごで話が盛り上がりです。阪神は最近弱いですけど、今年はトラ年ですし、がんばってほしいですね。

さて、次は東山 丁目の梅川(中江)さん。梅川さんのお宅にお参りに伺った時、なんと部屋に巨人の長嶋監督のサイン色紙が！ご主人が巨人ファンで、東京方面に出張に

出かけた時、手に入れられたそうです。先に述べましたように私は阪神ファンですが、長嶋監督のサイン……いいですね。

四月からフコ野球のベナントレースが開幕しました。みなさんのひいきの球団はどですか？私はやっぱり阪神に優勝してほしいのですが……このお西さんが出る頃は何位でしょうか？

(山岸)

■団参をふり返って■

今回は四月四日から四月九日まで、団体参拜に参加させていただきましたので、そのことについて書かせていただきます。

四日に函館を出て、京都、北陸、飛騨、名古屋とぐるりと巡り九日に函館に帰ってきました。その間、函館別院と江差別院で総勢六十二名の方とご一緒させていただきました。

本山では、京都に遊びには行っても参ることのないお朝事にみなさんにつれていってもらったり、なつかしい旧友に会ったりしながら、とてもありがたい蓮如上人の五百回遠忌法要にも参加させていただきました。その後は、色々な所を観光させていただきましたながらの、とても楽しい毎日をすごさせていただきました。また、お会いしたことはないご門徒さんとも顔を合やす機会にもなり、とてもうれしく思いました。

そんな中でも印象に残ったのは、みなさんがそれぞれに和気あいあいとして、またとてもお元気がだったことです。私は旅行中いつもぐったりとしていたのに、みなさん私より年をとられている方ばかりなのに、すごい元気を感しました。またその元気をいかし、お寺にお参りにきて下さい。その時、

もし私をみかけたら声をかけて下さい。お待ちしております。

PS いろいろとご迷惑をおかけしましたのに、みなさま優しくして下さいまして、ありがとうございました。

(石里)

■巣立ち■

松川町の真田正臣さんの息子さん雅英君は、この春高校に進学いたしました。中学生の時から活躍されていたハンドボールを続けるために福井県の北陸高校に入学されたのです。

先日、お参りの時にこの話を伺い、私は感激してしまいました。以前より、「なんとかハンドボールを続けさせてやりたい」というお母さんの気持ちもお聞きしておりましたし、なによりも北陸高校は浄土真宗の宗門校なのです。部活で忙しいときでも、家にいる時は必ず後ろに座り、お参りをするお兄ちゃんでした。自然に仏様の前に座り手を合わせることが出来るのは、お婆ちゃんやご両親のお姿を見て育ったからでしょう。お婆ちゃんも真田若子さんといつて、生前、お寺によくお参りされた方でした。そのお婆ちゃんと一緒に、仏様に手を合わせていたことが、不思議と宗門校に進学するご縁につながったのではないのでしょうか。

「お婆ちゃんにも雅英の姿を一目見せてあげたかった」とおっしゃったお母さんの一言が、私の心にジーンとききました。

(吉村)

■家族と犬

私は毎月、いろんな方のお宅にお伺いさせて頂くのが大変楽しく、特に三日の月参りが楽しみです。何故かといいますが、三日の日は大手町の加賀谷さん、旭町の北山さん、そして同じく旭町の井藤さんと、皆さん犬を飼っておられるからです。元々犬好きですので、どのお宅の犬も可愛くて可愛くて。

加賀谷さんの「蘭丸」は最近ようやく強烈に吠えなくなり、北山さんの「ポロ」はお参りに行くと必ず飛びついてきます。井藤さんの「ロッキー」は孫の赤ちゃんを可愛がっていますと「おれとあそんでくれ」とばかりに足元にすり寄ってきます。

しかし最近、北山さんの「ポロ」が亡くなってしまいました。何年も一緒に暮らしてきて、子供同様に可愛がってきたそうなので、悲しみもさみしさも実の子供を亡くしたかのように思ったそうです。だから「そその中から命について、そして慈悲について、色々な事を「ポロ」から学ばれたと、にこやかに話して下さいました。

(高倉)

■「いつなるかわからないうつろい」
弁天町の荒井多賀子さんは、短い休日でもそれを利用してよくいろいろな所へ出かけられるそうです。

「子供が手を離れたら、一緒に旅行でもしようね」と話していたお父さんが、突然亡くなった時から「そのうちに」とは思わずに、少々無理しても「と思うようにしているんです」とその理由を話して下さいました。「そのうちに」といつても「いつなるかわからないうつろい」が続けておっしゃった荒

井さんの言葉は、とても意味深く、「そうです」と、私自身改めて大切なことを教わった気がしました。

又、荒井さんは、お寺の通信教育で仏教を学ばれている、西旭岡町の中里さんと親友で「あなたも一度来てみたら」と、誘われたいするとの事。「そうは思っても、なかなか」とおっしゃる荒井さんですが、蓮如上人も「仏法には世間のひまを閑きてきくべし」とおっしゃっておられます。旅行と同様、お寺にも「ちょっと無理をしても」是非一度お寺に足を運んで、仏法にふれていただけたらと思います。お待ちして下さいませよ！
(小笠原)

■思えば遠くへ……

富岡町にお住まいの石田さん宅へおまいりにお伺いさせて頂いたときです。

娘さんが兵庫県の方へお嫁に行かれてるそう、私の自ほ坊ととても近く、なつかしい話をさせて頂きました。多田神社だとか、あそこのダイエー。だとか函館の人では分からないようなローカルな話をしておりまして、とてもなつかしくなりました。昨年七月に函館にきまして、もうすぐ一年がたとうかとしておりますが、まだ一度も家に帰ることもなく、あちはどないなってるのかなあと思つたことでした。あまり自分の方から家に電話をすることもなく、たまに母親からかかってはきますけれども、あまり話しもせず終わってしまいます。今度は自分の方から電話でもしてみようかなと思いました。

(廣澤)

■ひとつの心

四月五日の日、函館別院、江差別院の門信徒の方々と蓮如上人五百回遠忌にお参りさせて頂きました。

久しぶりのご本山、なにか私自身、身おひきしまる思いの中、五百年の時を越えて、今私たちに上人のお導きがとどいているのだと、皆様のすがたを見て感じさせて頂きました。

法要の後、大台本廟へ行き、お参り、納骨をさせて頂いた時、何人かのご門徒の方が、ご本山へ納骨できて安心(ホッと)しましたと話してくださいました。

又、いろいろな都合で行けなかった方、この度一緒にお参りをされた方、お気持ちのみな様ご本山へ納めたい、というのが、お参りされている方や、函館に帰ってから納骨のご報告をさせて頂いた方々のお顔を見ていましたら、お心の中は、みんな一緒だなと感じさせて頂いた事です。
(神田)

■お寺へようこそ

梁川町にお住まいの花田吉郎さん「最近体調もすぐれ、雪もなくなって歩きやすくなったので、お寺にお参りにお伺いしたいのですが」と、先日のお参りに申し出て下さり、それではさうそく、四月十一日から十六日の間は、お寺で常例布教が勤まりますのでぜひいらして下さいと、おさそいいたしましたら、市電で、毎座いらして下さいました。八十すぎのご高齢ではあります、熱心にご法話を聞いていらっしゃいましたね！おさそいしたかがありました。

本町にお住まいの堀川智枝子さん。先日お姉さまを亡くされ、とてもサビシソウなお顔で、少し心配していましたが、花田さんと同じく、常例布教のご法話をききにいらして下さいました。お寺の法座の時間は私たちが心底ホッとするひとときです。これからもぜひ、お寺に足を寄せて下さいませ。お待ちしております。
(黒田)

乙女のつぶやき (事務員日記)

永かった冬もようやく終わり、暖かい春がやって参りました。いつもお昼休みの前に、本堂までストーブを付けに行くのですが、最近はストーブを付けようかどうか迷っている今日この頃です。

春といえば草木です。今年も元気いっばいに芽を出したり、花を咲かせたりしてくれています。お寺の事務所に、平成8年度報恩講でお楽しみ抽選会の景品だった余り物のミニ薔薇の鉢植えがあります。昨年1年ずっと枯れていたのですが、何となく水を与え続けていたら何と、今年芽が出てきました。表面は枯れて、死んでしまった様に見えていましたが、根は生きていたのです。小さいながらも一生懸命生き続け、芽を出す瞬間を今か今かと待ち構え、ようやく明るい日差しを浴びることが出来た、ミニ薔薇の新芽になにかを教えられた様な気がしました。
(晴)



蓮如上人五〇〇回遠忌法要



蓮如上人500回遠忌法要・団体参拝に参加して

熊谷 淑子

私達は此度の蓮如上人五〇〇回遠忌法要に参詣する為、四月五日上山いたしました。法要前に書院、飛雲閣、唐門など、重文の数々を見学し、いよいよ御影堂で法要が勤まります。全部椅子席で、テレビカメラが要所要所に置かれ、法要の進行、説明は各自の椅子に備え付けのイヤホンで聞きます。

ご門主様のご出席です。このご法要のために制定された作法によって厳粛に行われました。ご門主様のご親教がございました。「親から別家した二男三男の方、入学就職で親元を離れている人もお仏壇を置き、生活の中心に致しましょう、お念仏の薫る家庭はお仏壇を置くことからです。」とお示し下さいました。法要終了後は大谷本廟にむかいました。納骨と明著堂の参拝です。

大谷本廟を出てからはバス旅行です。翌日は福井県の吉崎御坊を参拝し、桜前線北上中のこととて、バスの中からお花見をし、五泊六日の旅を終えたのです。尚、四月十日は第十一回世界仏教婦人大会が大阪城ホールで開催されるため、その出席者十二名は九日朝、名古屋で団体参拝一行と別れ大阪へと向かいました。

世界各国から、九千人の仏婦が大阪城ホールに参集したのです。基調講演は岡百合子さん（六七歳）高史明氏婦人です。

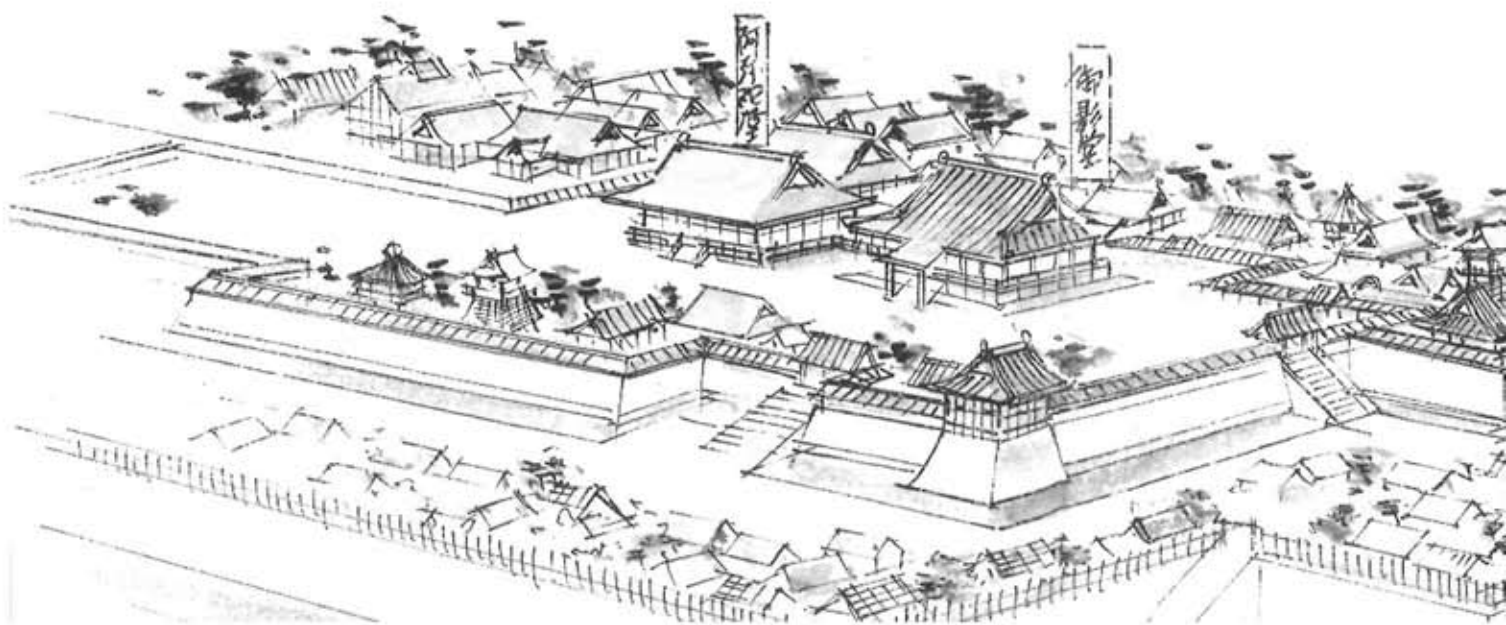
「御同朋の世界を往く―光のいのちに導かれて―」

淡々と語るご自身の半生、戦中戦後を生き、思想の遍歴、朝鮮国籍の高史明氏との結婚そして差別の壁。一人息子が自殺したこと、自力で人間のもつ根源的悩みを越えようとして果たせなかった―と。夫の高史明氏と共に苦しみ、仏さまのいのちの先に照らされて歩むべき道が見えてきたとの事、高史明氏の講演を夕

づらせながら何のてらいもなく語る言葉を聞き、自力を離れて他力にかかった岡百合子さんの姿をみたのであります。

四年後は南米ブラジル、サンパウロで会いましょう、と閉会したのでした。





親鸞聖人のお誕生を お祝いする慶びの法要



胡弓演奏者
劉 福君氏
(りゅう ふくくん)

5月 **23** 土曜

◆午後1時30分
降誕会法要・法話(本堂にて)

◆午後2時30分
門信徒 慶びの広場

中国民族楽器
胡弓とピアノの演奏会
(文化会館1Fにて)

バザー・抽選会開催
(文化会館1Fにて)

平成10年
宗祖聖人
降誕会
ごうたん
元



バザー開催!!



5月 **24** 日曜

◆午前10時
龍谷幼稚園 園児参拝
(本堂にて)

◆午前11時
初参式(赤ちゃんのお寺参り)
(本堂にて)

◆午前11時
龍谷幼稚園 **バザー開催**
(園社舎内にて)

お問い合わせ

本願寺函館別院
(西別院)

函館市東川町12番12号 電話23-0647

◆16日会 平成9年度決算◆

収 入	金 額	支 出	金 額
前年度繰越金	264,993	贈 費	289,730
会 費	309,800	通 信 費	21,500
法友会より寄付	68,638		
別院より助成金	50,000		
預金利息	709		
小 計	694,140	小 計	311,230
		次年度繰越金	382,910
合 計	694,140	合 計	694,140

通信教育(おつとめ)

毎月8日のPM6:30より開かれており、中央仏教学院の通信教育生と、おつとめに感心のある方々(聴講生)が対象です。おつとめ(正信偈、御文章等々)のほかには、ご門徒のたしなみとして簡単な作法(お焼香の仕方等々)やお荘厳(おかざり)の仕方なども、1つ1つ勉強しています。
(担当/吉村)

案内

お西さんテレフォン法話



0138 27局 2424番

24時間好きなときにいつでもどうぞ



- 5月 3日(日)～5月 9日(土)…輪 番
- 5月10日(日)～5月16日(土)…黒 田
- 5月17日(日)～3月23日(土)…山 岸
- 5月24日(日)～5月30日(土)…輪 番
- 5月31日(日)～6月 6日(土)…吉 村
- 6月 7日(日)～6月13日(土)…高 倉
- 6月14日(日)～6月20日(土)…輪 番
- 6月21日(日)～6月27日(土)…石 黒
- 6月28日(日)～7月 4日(土)…廣 澤

土曜の会へ行こう

●五月 三十日(土)
●六月 二十七日(土)
会場 日吉町熊谷宅にて
お問い合わせ ☎(0138)541-68059

浄書(写経)の会

●五月 十一日(月)
●六月 八日(月)
※現在は「正信偈」の写経を行っています。
初めての方もどんどんご参加下さい。
会場 当院本堂裏内堂にて
お問い合わせ ☎(0138)231-0647

ようこそ常例布教へ

〔5月〕 北海道教区 後志組 照覚寺
佐々木 俊丸 先生

〔6月〕 北海道教区 留萌組 信楽寺
吉川 照恵 先生

十一日 職員法話
十二日 布教使
十五日 輪番法話 (午後1時30分より)

※なお、毎月十六日は、十二時半より
十六日会です。

会場 当院本堂にて
十六日会 会場は文化会館1F
お問い合わせ ☎(0138)231-0647

永代経懇志
ありがとうございました。

おくやみ申しあげます。

お便り
大募集



仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。
又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。
どうぞ、お気軽にお便り下さい。

編集後記

▼春を迎え心機一転。「お西さん」の担当が変わりました。しかし、この様な定期刊行誌は、初めての体験。記事の特定やら、原稿のメ切りやら、も「こんなに大変だったとは…」
ここはひとつご門徒のみなさんに、助けていただくしかありません。仏事で疑問に思ったこととの相談、近所のおいしい店、名物おじさん、おばさん等々、情報やご意見大募集！直ちにお伺いして、ご門徒のみなさんのお声を直にお伝えする機関紙にしたいと思っています。
石丸さん、小笠原さん四年間本当にお疲れさまでした。 (黒田)

▼この四月より、お西さんを任せられました高倉と申します。
まだ函館に來まして一年余りと不安なことは沢山ありますが、先輩たちに助けてもらいながら一生懸命自分の出来ることを頑張って行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。(高倉)

ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、
急に一日用事で出かける方、
安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブでおあずかりします。

対象

担当

龍谷幼稚園生並びに 古澤 妙子先生
2歳以上の弟妹 (元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274
ミッキークラブ ☎27-4304



入園式

安西 るみ先生



春、四月! 街の中は新しさにあふれています。四月十日、幼稚園にも新入園児が入ってきました。「入園式」です。職員も緊張の時間です。「不安げな子」「あちこちに興味を示す子」「お兄ちゃんお姉ちゃんといつも一緒に幼稚園に来ていたので今度は自分の番と我がもの顔の子」「泣き出してしまう子」「赤ちゃんのように抱っこをねだる子」さあ! みんな出発です。

「入園式」はみ仏様へのお参りから始まります。「お香」のにおいの中、在園児達はお兄さんお姉さんになったという自覚が立派に「おつと

め」をはたし、新入園児達は少しビックリした顔で見えていました。

後半は、先生が手あそびをやり、少しリラックスしたところで年長さんの音楽劇「ももたろう」を見て楽しみました。

さすが子どもたちが、演じてみせると「シ〜ン」と静まりかえり、みな真剣に見ていました。きっと自分達もやってみたいなあと思ってくれたことと思います。

式の最後は、記念写真を親子で写し無事終了。おつかれ様でした。

